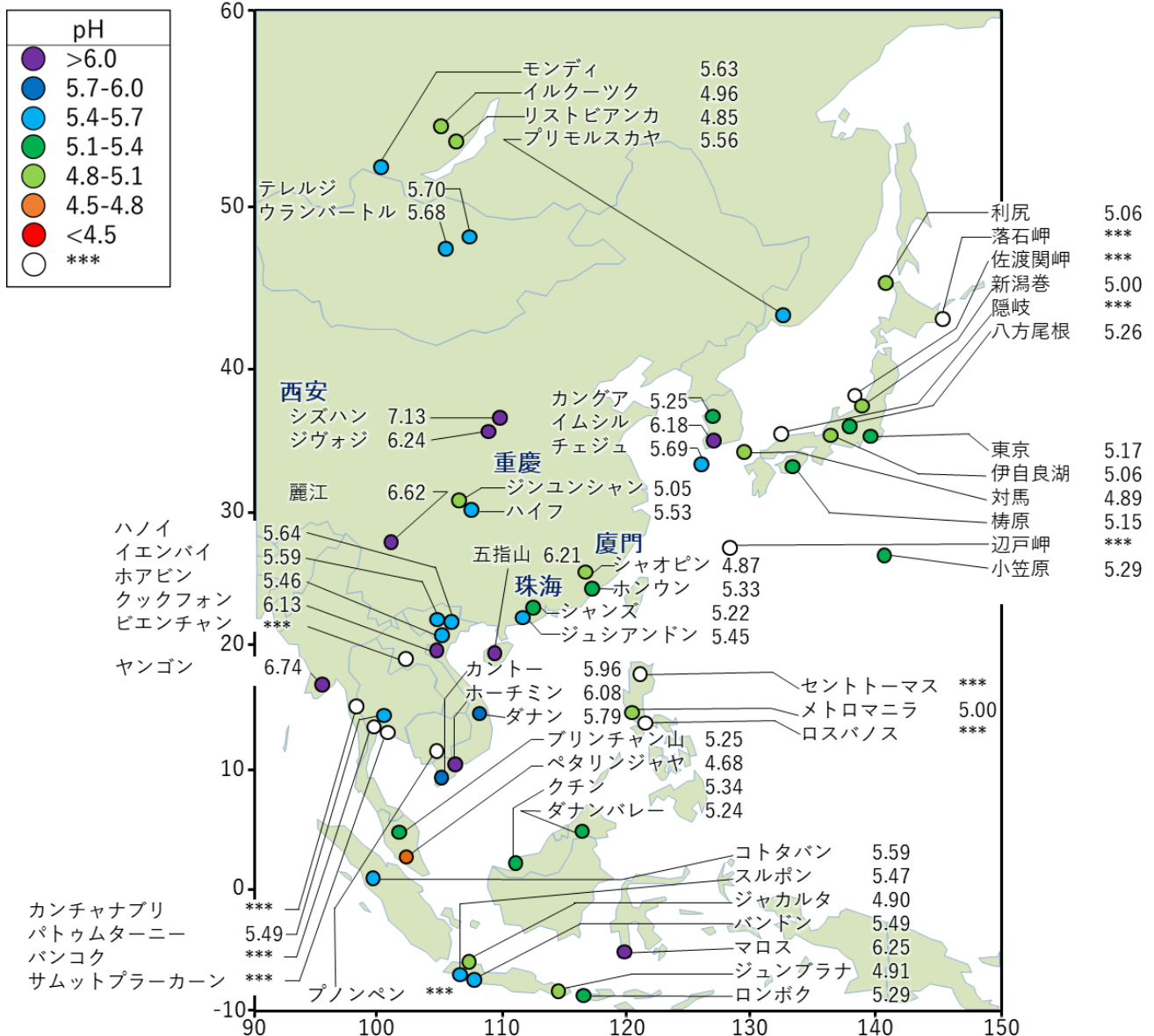


# 東アジアにおける酸性雨の状況

## 各測定地点における年平均 pH (2021 年)



注)

- pH とは水素イオン指数により酸性度を表すもので、酸性雨を調べる指標となる。pH が低いほど酸性は強く、水素イオン濃度が高い。(中性では pH7。大気中の二酸化炭素が十分溶け込んだ場合の pH である pH5.6 を境にして、それ以下を一般に酸性雨と呼んでいる。)
- 上記の数字は、各測定地点における 2021 年の湿性沈着の pH (年平均値) を示す。ただし、記号の意味は以下のとおり。  
\*\*\*: データなし、または基準を満たさず棄却された値
- 測定方法および精度保証・精度管理 (QA/QC) については、東アジア酸性雨モニタリングネットワーク (EANET) において技術

### 【主要な結果】

- 測定地点：13 国、59 地点 (2021 年末現在)。  
なお、各測定地点は都市地域、田園地域、遠隔地域等の地域属性が異なる。
- 2021 年の pH 平均値は、4.68 (マレーシア・ペタリンジャヤ) ~7.13 (中国・西安 (シズハン)) の範囲に分布。
- 日本を含む北東アジア域では、過去のモニタリングデータと比較して、pH が概ね同程度かやや大きい値を示しており、降水の酸性化について回復の傾向が示唆される。
- pH が 6 を超えるデータもあり、黄砂等による中和作用が示唆される。